

# じゅんかんプロジェクト8報告書

ごみから地球を救う  
人から人へつないで行こう、まだまだ使えるリユースの輪  
～リユース（再使用）の促進について考える～

平成22年2月

## <はじめに>

循環型社会推進懇談会（呼称：じゅんかんプロジェクト）は、平成13年度に市川市が策定した一般廃棄物処理基本計画「いちかわじゅんかんプラン21」の策定に当たって、市民の意見を計画に取り入れることを目的として設置された市民参加組織です。

平成14年度からは、基本計画の策定を受けて、一般廃棄物の排出及び適正な処理方策等を市民と共に考え、計画や施策が円滑に実行されるよう市民と行政が意見を出し合い、資源循環型社会の形成を推進していくことを目的とする市民会議として、年度ごとにテーマを変えて進められてきました。

今年度(平成21年度)は、持続可能な循環型社会を形成するために欠かせない3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち、比較的なじみが薄い「リユース」にスポットを当て、「リユース（再使用）の促進について」をテーマに市民・学生で構成されたメンバーで議論してきました。

この報告書は、市民・学生それぞれの目線で考え議論し、提案してきたことをまとめたものです。報告書の名称は、この懇談会が今回で8回目となることから「じゅんかんプロジェクト8報告書」としました。

この報告書が市川市のごみ減量化の施策の一助となれば幸いです。

## リユース（再使用）の促進について

まず、リユース（再使用）を促進するための具体的な取り組みについて議論をしていくためのきっかけづくりとして、日常生活においてとても身近でなくてはならない「地域」「学校」「家庭」「職場」の4つの場でできるリユース（再使用）の取り組みについてアイデアを出し合いました。

### <4つの場におけるアイデア>

#### <地 域>

- 家庭で不用になった古本を集め、地域に広めていく仕組みをつくる。
- 家庭で不用になった衣類を集め、地域（ボランティア団体を通じて海外にも）に提供する仕組みをつくる。
- 古本、衣類に限らず、家庭で不用になったものを集め、フリーマーケットを通じて地域に広めていく仕組みをつくる。
- 自治会を通じ、各家庭を対象にリユースに関する意識調査を行う。
- フリーマーケットなどリユースに関する情報を自治会を通じ広めていく。
- 近所付き合いを深めることでリユースの輪を地域に広めていく。

#### <学 校>

- 使い終わった習字道具、絵の具セット、楽器、副読本、裁縫セット、体操着など、いわゆる教材を再使用してもらうための仕組みをつくる。
- 鉛筆など文房具を学校で回収し、「リサイクルプラザ」を拠点に再使用してもらうための仕組みをつくる。
- 不用になった衣類を持ち寄り、クッションを作るなどの体験授業を行う。
- リユース活動の拠点として空き教室を有効活用する。

### 〈家 庭〉

- 不用になった家具類及びベビー用品は、大型ごみに出すのではなく「リサイクルプラザ」に引き取ってもらう。
- 家具類を購入する際には、「リサイクルプラザ」を利用するようにする。
- 衣類は、バザー、リサイクルショップなどに出す。
- 古本は、学校に寄付したり、知人に譲ったり、古本屋に持っていくようにする。
- 不用になった衣類を雑巾やバスマットなどに活用する。

### 〈職 場〉

- 職場内に古本や子供用品などをやり取りする、情報交換の場を設ける。
- 企業側にリユースの取り組みアイデアについて募集する。

### 〈その他〉

- 「リサイクルプラザ」をもっとPRして活用を図る。
- 「リサイクルプラザ」の存在も含め、不用になったものをごみに出さずに繰り返し使用するためのリユースの工程を図示した樹木図を作成し、自治会を通じ配布するなど周知する。
- 商店街の空き店舗を利用した不用品交換の仕組みをつくる。

そこで、このアイデアを基にさらに意見交換を行いました。その結果、様々な提案がなされましたが、その提案を集約してみると大きく二つのテーマにまとめることができました。

まず一つ目は、公共施設やインターネットなどにおける「リユースを促進するための仕組みづくり」です。

二つ目は、3Rの拠点である「リサイクルプラザの活用」です。以上、この二つのテーマについて議論をし、提案いたします。

## 1. リユースを促進するための仕組みづくり

公共施設などを活用した不用品を交換できる場や市民同士の情報を交流する場を拡充し、フリーマーケットなどリユースに関する情報を提供する情報のネットワークづくりを進めるための具体案を提案します。

### (1) 公共施設における不用品交換の場づくり

- 1) 学校の空き教室を利用し、不用になった教材（制服、体操服、習字道具、絵の具セット、楽器、裁縫セット、副読本など）を年に1回、寄付日を設け集める。  
集まった教材は、卒業シーズンの3月頃に無償提供するかあるいは安価にて販売する。  
また、広報、ホームページなどで周知していく。
- 2) 学校の空き教室に古本を集め、生徒が好きなときに持ち帰れる、お持ち帰りコーナーを設置する。
- 3) 図書館、公民館で古本を集め、いつでも誰もが自由に持ち帰ることができる、お持ち帰りコーナーを設置する。  
また、どのような本が置いてあるかホームページなどで公開する。

### (2) インターネット上における不用品交換の場づくり

- 1) 欲しいですコーナー、差し上げますコーナーを設け、不用品の交換をインターネット上で行う。

### (3) 市民の情報を交流する場づくり

- 1) 高齢者の方の移動にも配慮し、住まいから近場の自治会館などに集い、家庭で不用になっているものには、どのようなものがあるかなど情報を交流し、不用品交換会を行う。また、リユースに関する情報も持ち寄るなどして、情報をやり取りしコミュニケーションを深める場としても活用する。

### (4) リユースに関する情報提供の場づくり

- 1) フリーマーケットやリサイクルショップなど様々な情報があり、情報を収集し提供していくためには情報を一元管理する

拠点が必要である。

- 2) フリーマーケット情報などを自由に書き込みできる伝言掲示板を公共施設に設置する。
- 3) インターネット上にフリーマーケット開催情報など情報提供できる掲示板を設ける。
- 4) 駅の掲示板、自治会の掲示板を情報提供の場として活用する。

## 2. リサイクルプラザの活用

家庭で不用となった家具やベビー用品については、リサイクルプラザにおいて無料で引き取り、修理を行ったうえで再生販売していますが、まだまだリサイクルプラザの存在を知らない市民の方が多いことに気づかされ、3Rの拠点であるリサイクルプラザをもっとPRして、リサイクルプラザを有効活用するための具体案を提案します。

### (1) リサイクルプラザのPR

- 1) 周知方法としては、チラシ作成、ホームページ、広報誌、じゅんかんニュースなどの情報誌に掲載することは勿論のこと、駅の掲示板、自治会の掲示板を活用するとともに、ごみステーションに張り紙をする。また、ラジオによる啓発も考えられる。
- 2) じゅんかんパートナーさんの活動を通じて、リサイクルプラザをもっと宣伝してもらおう。
- 3) 引越し時には不用になった家具が発生すると思われるので、不動産会社にリサイクルプラザのチラシを配布し、転居者に宣伝してもらおう。

### (2) リサイクルプラザの活性

- 1) 現在、引取りを行っているものが家具類とベビー用品に限定していることがリサイクルプラザの知名度を下げている一因

であると考えられるため、可能な限り取り扱い品目を増やしていく。

- 2) 掲示板による不用品交換情報コーナー（ゆずりますコーナー）については現在、リサイクルプラザを含め4ヶ所に設置し不用品のやり取りを行っているが、写真による掲示だけでなく、贈答品など比較的取り扱いが簡単な実物をリサイクルプラザに展示し不用品同士で交換するなどのコーナーを設置する。また、不用品提供者にはエコポイントを付与する。
- 3) 建物が奥まっけていて目立たないこともあるが、建物の外観、室内が暗い印象を与えるので、目に付く看板を設置するなど明るい雰囲気づくりに取り組む。

### (3) リサイクルプラザの活用

- 1) リサイクルプラザ内に「リユースデスク」を設置する。

主な業務内容は、

- ・フリーマーケット、バザーの開催情報を収集しホームページに掲載し情報を公開する。
- ・市内のリサイクルショップ情報を調査し、ホームページなどで情報を提供していく。
- ・学校、自治会などに出向きリユース活動を普及する。
- ・学校に出向き、空き教室状況を調査する。利用可能な空き教室があれば、図書、教材、文房具、制服などをゆずるリユースプラザとして活用し、運営する。

以上4点です。

また、リユースデスクの業務に従事する人員は、国の施策の一つである緊急雇用対策など様々な制度を活用することで確保し、さらにリユースデスク業務のお手伝いとして、じゅんかんパートナーさんやエコライフ推進員さんなどの協力をもとに「リユースデスクサポーター」をボランティアで募集する。

<参考資料>

1. プロジェクトメンバー名簿

<じゅんかんプロジェクト8 メンバー名簿>

氏名	備考
石田 三雄	
梅田 富雄	
大久保 多津子	
◎小 野 恒	
片野 光枝	
工 藤 優	大学生
小林 郁子	
友田 幸子	
○平工 顕子	
布施 潤子	大学生

◎：座長      ○：副座長

## 2. 活動実績

### 〈じゅんかんプロジェクト8懇談会開催状況〉

回数	日時 (開催時間は午後6時から8時まで)	場所
第1回	平成21年 9月10日(木)	市川市市民会館第1会議室
第2回	平成21年10月 6日(火)	市役所本庁舎第4-2委員会室
第3回	平成21年11月10日(火)	市役所本庁舎第1-2委員会室
第4回	平成21年12月 1日(火)	市役所本庁舎第6-2委員会室
第5回	平成22年 1月12日(火)	市役所本庁舎第1-1委員会室
第6回	平成22年 2月 2日(火)	市役所本庁舎第4-2委員会室

### 〈リユース関連施設見学会実施内容〉

日時	場所
平成21年11月15日(日) 午前10:00~12:00	市川市リサイクルプラザ